

鹿沼ゆかりの版画家

# 江田一夫 回顧展



江田一夫《まつり》二〇一五（平成二七）年 木版多色刷紙

2021年5月19日（水）▶6月27日（日）

会場：鹿沼市立川上澄生美術館・1階展示ホール（入場無料）

開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日：月曜日

鹿沼市立川上澄生美術館

〒322-0031 栃木県鹿沼市睦町 287-14 TEL 0289-62-8272  
<http://kawakamisumio-bijutsukan.jp/>

え だ か ず お

江田一夫（1942～2020）氏は、鹿沼市下材木町出身の木版画家です。江田氏は、大工や木工製品の配達・修理、木枠を作る仕事を経て、2005（平成 17）年頃から、市内の版画教室「ふるさと板画会」で木版画を学び始めました。

作品の大きなテーマは、青森県の伝統的な「ねぶた」行事です。当初は「ねぶた」を画面に大きく描いていましたが、次第に余白を多く取ることで全体のバランスを意識するようになります。また、技術の面では、「ねぶた」の毛髪や衣装に鋭い切れ味の彫刻刀を振るい、「ねぶた」が闇に浮かび上がるような赤、黄の暖色系の色使い、さらに光と影を強調するために板ぼかしを用いているのが特徴です。

こうした作品の素地には、下材木町で培われた伝統への意識があったのかもしれませんが。同町は、江戸時代から受け継がれるきらびやかな彫刻屋台を有し、江田氏自身も「鹿沼今宮神社祭の屋台行事」に大きく関わっていました。モチーフこそ違いますが、その色彩や光と闇の表現は、子どもの頃から親しんだ下材木町の彫刻屋台から多くを学んでいるようです。

江田氏のこうした作品は、日本板画院で評価され、2009（平成 21）年には努力賞、2016（平成 28）年にはアーティストスペース賞を受賞し、2014（平成 26）年には院友に推薦されました。晩年、江田氏は長く闘病生活を送りますが、作品制作の情熱は冷めることなく創作を続け、2020（令和 2）年 9 月に 78 歳で亡くなりました。本展は、江田一夫氏の代表作 14 点を一堂に展示する回顧展です。その力強い作品をどうぞお楽しみください。

★出品作品リスト

No.	作品名	制作年	技法・素材	寸法(c m)	備考
1	祭り	2007(平成 19)年頃	木版多色刷 紙	39.0×53.5	
2	祭り 2	2007(平成 19)年頃	木版多色刷 紙	38.0×54.0	
3	祭り	2008(平成 20)年	木版多色刷 紙	39.5×54.5	かぬまウッドコレクション 2008 優秀賞
4	まつり	2008(平成 20)年頃	木版多色刷 紙	59.5×89.5	
5	祭り	2009(平成 21)年	木版多色刷 紙	59.0×89.2	第 59 回板画院展 努力賞
6	KABUKI	2010(平成 22)年	木版多色刷 紙	59.5×49.0	
7	まつり	2015(平成 27)年	木版多色刷 紙	59.5×89.5	
8	まつり	2015(平成 27)年	木版多色刷 紙	60.0×89.0	
9	祭り	2016(平成 28)年	木版多色刷 紙	59.4×89.5	
10	まつり	2016(平成 28)年	木版多色刷 紙	58.7×89.0	第 66 回板画院展 アーティストスペース賞
11	やすらぎ	制作年不詳	木版多色刷 紙	58.5×44.0	
12	さつき	制作年不詳	木版多色刷 紙	29.5×44.5	
13	栃木縣上都賀郡鹿沼町實景（模倣）	2013(平成 25)年	木材	62.0×81.0	
14	天動山雲龍寺之景（模倣）	2013(平成 25)年頃	木材	57.0×88.0	